

平成25年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 会議名 平成25年度第3回さぬき市男女共同参画推進協議会
- 2 日時 平成25年12月18日(水) 10:00~12:20
- 3 場所 さぬき市役所第2委員会室
- 4 出席者 **【委員】**
井上委員 岩田委員 柿木委員 亀井委員 小山委員 高橋委員
筒井委員 長安委員 夏田委員 南田委員 宮本委員
- 【事務局】**
総務部政策課長他3人
- 5 傍聴者 0人
- 6 会議次第
1 開会
2 会長あいさつ
3 議題
(1) DV・児童虐待防止啓発に係る取組報告について
(2) 第2次男女共同参画プラン素案について
(3) 今後の会議等スケジュールについて
4 その他
5 閉会
- 7 配布資料
資料1 : DV・児童虐待防止キャンペーンの実施報告書
資料2 : 平成25年度若者に向けたDV防止講演会実施報告書
資料3 : 第2回男女共同参画企画推進協議会での施策体系に係る意見反映
資料4 : 第2次さぬき市男女共同参画プラン(素案)

8 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜開会 10:00＞
事務局	＜挨拶＞
会長	＜開会挨拶＞ 議事(1)DV・児童虐待防止啓発に係る取組報告について説明をお願いしたい。
事務局	資料＜1、2＞の説明
会長	これについて、実際に関わってくださった委員からご意見・ご感想をいただきたい。
委員	津田地域でDV・児童虐待防止キャンペーンを手伝った。いつもは年配層が目

	立つが、今回はフリーマーケットの出店などもあったせいも、若い子育てママも目立った。特に子ども用の歯ブラシに人気が集まった。しかし、DVの知識については年配層のほうがよく知っていたようだ。チラシを受け取る人が「これ何？」と興味を持っていたようだ。
委員	志度の構造改善センターの入り口で配布を行った。チラシはすぐに無くなった。文化祭を利用したほうが効果的であると感じた。
委員	大川と志度で参加した。渡すときの表情で、受け取る人の理解度がわかる。夫婦や親子連れは気軽に受け取ってくれるが、年配層は戸惑いがあるような感じがした。子どもは歯ブラシにとっても興味を持っていた。歯ブラシをどのような場面で受け取ったのか、使うたびに思い浮かべてもらうことが啓発につながるのではないかと感じた。また、今後は地域の特性に応じて、年齢別に配布日を変えるなど、工夫があれば良いかもしれない。
委員	講演会は、(学校で終日行った)人権デーの取り組みの一部として行った。「いじめゼロサミット」のDVD鑑賞や、市場先生の歌を交えた効果的な語り、さらには幼稚園に出向いての本の「読み聞かせ」、ボランティアの協力を得ながらの曼珠沙華などの植樹などを行った。その後、子どもたちに感想文を書かせた。
委員	長尾中にはPTAの参観をはさんで行ったが、保護者の参加が少なかったのが残念だった。市場先生の歌とお話は非常に良かったが、ちょっと盛り上がりに欠けたように思えた。身体を清潔にする洗い方などに、子どもたちはインパクトを受けていたようだ。
会長	議事(2)第2次男女共同参画プラン素案について、説明をお願いしたい。
事務局	<資料3、4の説明>
会長	大切だと思ったのはP.13~P.16の第1次プランの検証と評価があるからこそ、本プランが成り立っていると言えるということ。まずは資料4、寄せてもらった意見は貴重な意見だ。要望を反映させるかどうか、具体的にどこに入れるかを先にさせてもらえたらよいと思うが。
委員	3ページのジェンダー・ギャップ指数のところ、101位は示す必要がないのでは。出典資料は明確に。比較する必要があるなら、最新の情報で良いのではと思う。4ページのところでDV防止法は平成20年に改正されたというところで終わっているが平成25年に一部改正があり、平成26年1月に施行されるとなっているので、最新情報をもってきていたほうが良いのではと思う。 育児介護休業法をはじめ…と文中にあるが、その文についても21年には改正され、22年6月に施行されているので、いわゆる最新の情報で、または経過が必要な場合は、最初に出されたときと今こういう風に改正されている、と提示したほうが良いと思う。4ページの内容については変更されているというのが明確になるようにした方が良い。
委員	一通り読むのに3時間かかったが、良くできている。 P.22の体系の特に【4】政策方針決定の場における男女共同参画の推進について、

	<p>意思決定の場への男女共同参画の促進、人材の育成で、促進については「男女共同参画室」を創るべき。そこが核になり、こういうプランを具体化していくための取り組みをしていかなければならないのでは。また、常駐5名で女性のみとし、女性の力だけで参画を促進することができないか検討すべきである。他都市に視察に行くと、そこは女性の視点で取り組みを行っており、雰囲気も柔らかい。5人全員それぞれ役割がある。話し合いをしながら進めている。</p> <p>早く、小中学生でもわかるような内容になりたいと思う。大学で講義を受けているような、高度なプランだ。そうしたものを砕いて具体的に、この人に、この年齢層に、男女共同参画プランを具体的にわかってもらうためにはどういことをやり、キャッチフレーズにすればいいのか。(兼務の多い)政策課では無理だと思う。やはり独立した推進室が必要だ。</p> <p>推進室があり、そこからいろんなものを発信していく。その発信していく内容が、まずは女性が社会のなかで地位を高め、知識も高め、ということをお願いしている。</p> <p>ある町では「男女共同参画～まずはあなたの家庭から～」というキャッチフレーズを目にした。さぬき市の政策課だけでは全てをみるのは無理である。専門部署を創設すべきである。</p>
会長	<p>国が掲げている 202030 の達成を目指す上でも重要なことだ。ちょうど平成 30 年頃の見直し時期で評価できるのではないか。</p>
事務局	<p>(男女共同参画推進室の新設については) 意見が出るものの実現していないため、今後、組織体制の見直しを踏まえつつ、検討していくべきだと思う。</p>
会長	<p>市長に答申する際に、提言してみてもどうか？</p>
委員	<p>さきほどの委員の話には賛成である。取組内容欄に「主な担当課」とあるものの、躍動感や、やる気が感じられない。暗いイメージがするのは、核となる担当課が無いからではないか？</p> <p>資料 4-5 「地域活動の活性化のために、団塊の世代の組織課が必要」とあるが、地域活動は、今の民生委員等だけでは力不足である。新しいかたちで、別の部隊をつくるべきである。資料 4-5 「地域活動の活性化のために、団塊の世代の組織課が必要」とあるが、地域活動は、今の民生委員等だけでは力不足である。新しいかたちで、別の部隊をつくるべきである。</p>
会長	<p>ボランティアネットワークや人材バンクなどが、それにあたるのかもしれない。</p>
委員	<p>資料 4-5 「地域活動の活性化のために、団塊の世代の組織化が必要」の件について、若い人に対する視点、とりわけ子育て世代などにスポットをあててみてはどうか？地域には若い人たちも住んでおり、活動の場が少ないのではないか？</p>
会長	<p>マタニティ・ハラスメント対策にもつながるのではないか？</p>
委員	<p>マタニティ・ハラスメントということばを知らない人もいるので、注釈を入れながら盛り込んでほしい。また、P.48 のエンパワーメントの注釈について「自ら持っている力を引き出す」という意味合いもあるので、もう少し推敲してほしい。</p>

委員	<p>P.65 の 1. 庁内推進体制の充実の中に、核となる部署（男女共同参画室）を入れるべきではないか？今のままの組織では難しいだろう。また、主な担当課として農林水産課が多い気がするが、そんなに関連事業を行っているのか？また、男女共同参画室をつくる場合、市長直轄とすべきである。</p>
会長	<p>男女共同参画室の表記を入れることを、事務局で検討してみたいか？</p>
委員	<p>P.48 の施策「40 女性の起業・・・」について、「今後、検討していきます」という表現はあいまいである。「検討すること」が男女共同参画社会を推進していくためのいわゆる農林水産業におけるものなのか、そうすると農林水産課だけが主な担当で良いのか。女性の起業などを支援するための講習や講座の開催をするとしたら、農林水産課とともに、新しい男女共同推進についての具体的なプランを持っているところが参加して、意見なり方策を提案する必要があるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>担当課については、前回からの引継ぎになっている。後期プランを作ったときに整理されているもので、今後の書き方も含めてだが、今回取り組み内容についてはより具体的に、どういうことに視点をあててもらいたいのかといったことを、これを見てわかるように、具体的に書いている。以前だったら、例えば、「情報窓口の収集、提供」としか書いておらず、一次プランでは課の名前もなかった。後期計画では、「活動拠点機能充実に関する検討」と書いて、担当課として政策課と記載した。今回の案では具体的に書いているからこそ、引っかかってくる問題が多々出ているようなニュアンスにとれた。ひとつ聞きたいのが、取組内容の書き方を今回のような詳しい書き方にするのか、それとも、もとに戻して、拡大解釈できるような書きぶりにしたほうがよいのか。担当課を明記するのか、しないのかの意見が欲しい。基本的に男女共同参画の推進については、（プランには）例えば生活研究グループで頑張ってもらいたいことであれば農水、といった具体的な所管課を担当課として記載しているが、それらの取組を全部集約して進捗状況を調査して、「こうならないか」など呼びかけているのは政策課だ。政策課がまったくかわらないということはまずない。これらを踏まえ、書き方をどうするか。</p>
委員	<p>第 1 次プラン策定時、担当課を入れるように申し出たが、事務局から難色を示された経緯がある。担当課がないと、そのことについてどこに問い合わせるか、すべて政策課なのは大変なこと。事業を進めるには、実際には担当課があって、農林水産課も男女共同参画の事業を推進している。政策課は進捗状況調査を行っている。担当課は記載すべきである。</p>
会長	<p>主な担当課は 1 部署なのか。1 部署だけでなくとも良いと思う。いずれにしても責任の所在を明らかにすべきである。見直しをしてもらい、該当する課はみなで見守っていくという。</p>
委員	<p>例えば、農林水産課で事業が進まなかったとき、どこでチェック機能の役割を担うか？チェックや権限をもつ上部組織も必要ではないか？</p>

委員	<p>今の意見のように、進捗状況調査の結果が出てきても、本当に男女共同参画のための事業として機能しているのかどうか、チェック機能が必要かもしれない。</p>
事務局	<p>今も結果が出ると全員に周知をして、数値を出し「足りない」「後退した」というのは一目瞭然になる。推進本部会議でも説明し、そこの部局長が「こう言われた」などと担当課に連絡していく。どんなものでも、確実に実行できるように男女共同参画を担当する課として呼びかけては行くが、それが（男女共同参画の視点に基づき）きっちり行われているかどうかの把握は難しい。ただ、第三者機関的に、新しいチェック機関を協議会以外で作るかどうかは検討が必要かもしれない。</p>
委員	<p>42 ページ、職員のアンケートでは女性の社会進出への懸念の声もあると出ているが、当然だと思う。上位の職位を希望しない女性が多い、家庭における家事・育児等があり、責任ある役職につくことは難しい。しかし、中央においては子育てをしながらキャリアがあり仕事をこなしている人が何人かいる。仕事をしながらの家事・育児を含め、すさまじいことを聞いた。女性が「上位の職位を希望しない」「責任ある役職につくことは難しい」と言っているうちは難しい。女性にも責任がある。本市のような地域の場合は、まだ意識が薄い可能性があり、ある意味、女性にも責任があるのかもしれない。</p> <p>課題の整理のところ「政策決定の場や事業所の方針決定過程の場における、女性参画促進の取り組みと強化」とあるが、どれくらい実行できているのか。その後、「市職員の女性管理職の登用」では、どのような政策決定の場へ女性が管理職として登用されているのか。「市職員の研修機会の充実」で「女性を登用しやすい環境づくりに努めます」とある。どのように具体的に努めるのか。</p> <p>第二次さぬき市男女共同プランは文言においては非常によくできているが、それを具体化していくためにはどうしたらいいのか。そのためには男女共同参画室がいるのではないか。</p>
委員	<p>ひとり親家庭への支援について、ひとり親などの家庭をつくらないといった発想での施策、一歩手前の施策が必要ではないか。</p>
委員	<p>P.30 に記載されている施策などをはじめ、学校内では平等な教育が行いやすい。しかし、彼らが社会人となった途端に、男女格差という壁にぶち当たる。就職は女性の求人が少ない、入社しても男性優位など、学校で平等意識ばかり注力してしまうと、現実とのギャップに悩むといった問題が発生するかもしれない。</p> <p>また、セクシュアル・ハラスメントやDVなど、人権以前の「道德教育」が重要である。道德にも、男女共同参画の視点を入れていくことが必要である。</p>
会長	<p>道德教育に欠けてしまっているのは、具体的な構造のなかで上下関係みたいなものが混然と根強く残ってしまっている。道德教育だけでは乗り越えきれないこともあるかと思うので、人権ということで抑えていくと、道德教育を含めた形でできるのではないかと。大学生になると急に「家庭に入りたい」という女性も増える。「厳しいけれどもやっつけていけるよ」ということを伝えるのも大切では。法が変わっていくように、不備ではあるが、社会的環境も整いつつある。「イクメン」の浸透について、何か意見はあるか。</p>
委員	<p>「イクメン」は短絡的には良いかもしれないが、経営から見ればどうか、とい</p>

	う見方もある。
委員	企業にワークライフバランスの講師が行って話を聞くというのはできているのか。
事務局	企業への取組にはまだ疎い。取組内容について、より具体的にどういうことをして自分たちの成果としているのかは、進捗状況調査で回答してもらってはいる。プラン内の取組内容の書き方として、細かいことは書かない方向で構わないか。「足りない」というイメージがあるのだったら、もっと長くする。中間地点が難しいが、そこが皆さんのご指摘の理由かもしれない。
委員	具体化して、見守るところが今のままでは弱いという意見がずっと出ている。
事務局	今の不平等を踏まえながらも少しずつ変わって行って、10年後には〇〇をめざすんだ、という思いで書いていたら躍動感が出るかとも思った。推進体制の問題にもなる。
委員	女性を卑下する意識が強い。周辺組織の意識を変えていくこともこのプランの大きな役割だと思う。現実はなかなか難しいが、女性も、自分たちをもっと主張していこう、それこそエンパワーメントしていこうという動きを作らなければいけない。そういう女性たちを認める男性たちも必要でないかと思う。
委員	学校の役割は大きい。教育現場は一生懸命取り組んでいる。45 ページ、事業所アンケートの結果で、(ウ) 女性の管理職の増加のところで、考慮していない・検討しないが 39%。それはなぜなのかを聞きたい。
委員	生徒会長などは女性が少ないという意見があった。地域の文化があるからだと思う。長尾中学校では 3 年間のうち、女性会長 2 年、男性会長 1 年だった。大川一中と天王中学が男性だった。今回の表を見ていると男女だいたい同数で出ている。ただ、圧倒的に票は男性に集まった。女性の方が劣っているかというのと劣っていない。地域の文化が残っているので、そういった結果が出るのかもしれない。変えていかなければならないが。
委員	確かに、地域によっては、女性が男性を支えているところもある。逆に、女性を取り仕切っている地域もある。
委員	学校では、先般の市場先生の講演会などで対応を考えていきたい。
委員	各学校で同じ講演会を開いて、その後、学校間でミーティングをやれば意識の共有が図れるのではないか？
会長	資料 4 について、とりまとめをしたい。 1 マタニティ・ハラスメントについては用語の説明を入れるということによろしいか。
一同	よろしい。

会長	<p>2 エンパワーメントについては反映してもらったが、言い回しを変更する。</p> <p>3 人権作品の募集、多様な学習機会の提供についてはまだ話が全然できていないが、現状維持にするのか、変更するののかについてはどうか。</p>
委員	<p>作品の募集はこれ以上増やすと大変だ。多様な学習機会の提供については市の施策として今後も続けてもらえれば、子どもたちのためになる。</p>
委員	<p>確かに、多様な学習機会の提供については続けてほしい。</p>
会長	<p>ここは現状維持ということだ。</p>
委員	<p>今、学校間の横の関係を築くようなことを行ってほしい。子どもたちの見地、考え方が広がるのでは。</p>
委員	<p>3 作品募集について、今まで作品募集したものを展示してみるというのも一つの方法。そうすることによって、それぞれの経過がわかるし、「最初はこうだったが何年かのちにこういう風になってきた」というような経緯をみる。</p>
会長	<p>4 イクメンの浸透のための記述が必要、については何も変更されていない。</p>
委員	<p>表彰したらどうか。男性の育児休暇をとった経過を報告してもらい、表彰する。奨励金を出してもいいと思う。</p>
委員	<p>男性の育児休暇取得向上についての取り組みというかたちで、どこかに明記するか。県も行っているのだから、列記したらいいかもしれない。</p>
会長	<p>5 地域活動の活発化のために、団塊の世代の組織化が必要、ということに対しては、これは反映して当然という意見だったと思う。どこに入れるかに関してはご検討いただきたい。</p>
事務局	<p>了承した。</p>
会長	<p>6 老若男女すべての市民が、自分の生涯に沿った健康づくりの必要性を感じてもらえるような呼びかけが必要、についてここは全然話ができているか。</p>
委員	<p>健康診断も負担が大きい。健康を守るための予防検診を勧めてほしい。全体として税金の無駄使いも防げるのであれば。様々な世代の健康管理を取り入れるべきである。マイカルテは、是非、推進してもらいたい。具体的な実行が必要だ。</p>
委員	<p>P.57 の施策「101 ライフステージに・・・」に、この健康管理の文言を追加してほしい。</p>
委員	<p>7 マイノリティの人への配慮が必要について、子どもの頃から自覚する子もいるので、是非、組み入れてほしい。</p>
委員	<p>マイノリティには、性的なマイノリティをはじめ、社会的なマイノリティなど、</p>

	様々な形態がある。挿入方法は事務局に一任したいと思う。
事務局	どの基本方針に入れるか、だけでいいので議論してほしい。
委員	基本目標 3 の基本方針 8、誰もが安心して暮らせるまちづくりか。
事務局	高齢者への支援などは基本方針 9 に入っているが、社会的マイノリティの人と いったら、気持ち的な問題で「すべての人が健康であるためにも、そういう人を 無視してはいけない」のような意味合いにして 8 に入れる。
委員	基本方針 8 の中の 23、いのちの大切さを育む意識づくり、の中にマイノリテ ィを入れてはどうだろうか？具体的には P.57 の施策「98 生命と・・・」あたり か？また、98 の中の「道徳教育活動」に「等」を加えていただきたい。
委員	資料 4 - 8. 交通事故防止について、県内の交通事情はとにかく悪い。ワースト ワンである。酒気帯び運転による交通事故もワーストワンだ。マナーが悪すぎる。 男女共同参画に入れる意味というのは、誰もが安心して暮らせるまちづくりに通 じるが、安心して暮らすことができない。酒気帯び運転されたら、自分がどれほ ど注意していても事故は避けられない。人間性の問題だ。
委員	P.57 の施策「97 喫煙、飲酒・・・」の中に入れてはどうだろうか？検討願 いたい。
会長	P.1～P.2 の未来図について、ご意見をいただきたい。
委員	未来図の吹き出しのことばが断定的にみえる。「・・・が実現しています」な ど、絵に描いた餅的な印象を受ける。
委員	目指していることなので、良いと思うが。
委員	「・・・実現すると」という想定の設定なので、これで良いと思う。
委員	5 本の柱にしてみてもいいか？例えば、「家庭」では下の段落、「学校」 では下の段落、「社会全体」では上の段落、「働く場」では一番上の段落、「地域」 では一番下の段落など。
会長	今の意見ですっきりしてきたのではないか？
委員	「学校」では下ではなく、上の段落を採用したい。
委員	「地域」については、「安全・安心」や「防災」などの表現も含めるべきでは ないか？
委員	イラストは、旧 5 町の特性を生かしたイラストを作成してはどうだろうか？
委員	P.7 のアンケート 2,000 名や事業所などの母集団数値を入れてはどうか？また、 回収率 36%を、今後、上げていくような工夫も考えておく必要がある。「取組内

	容」の記載をシンプルに短文化すべきかと思う。
会長	主要課題という書き方に関しては、施策の柱でなく主要課題になったがよろしいか。
委員	よろしい。(全員)
委員	現行計画に記載があった「事業所では」「市民は」という記載についてご意見をうかがいたい。
委員	入れたほうが良い。
会長	「事業所では」「市民は」については、入れる方向で事務局に検討して頂きたい。では、議題(3)今後のスケジュール等について事務局より説明をお願いしたい。
事務局	12月25日までに、素案に対する意見をいただきたい。その後、所轄課で確認作業を行い、修正後、次回は2月末頃を目途に開催を検討したい。
会長	以上をもって閉会する。
	<閉会 12:20>